

学級担任の先生・社会科の先生に『税』の話題を提供！

～北見版～

くらしを支える税

第 21 号

平成 23 年 11 月

北見市租税教育推進懇話会

11 月に入り、オホーツク地方は寒冷の季節となり、平野部でも降雪間近な季節となりました。

風邪など引かずに、これからの寒い季節を乗り越えて行きましょう。

ところで 11 月というと、税の仕組みや目的などを考え、国の基本となる税の理解を深めていただくことを目的に国税庁・全国の国税局・税務署などで一斉に PR を行う「税を考える週間」を毎年 11 月 11 日から 17 日の一週間実施しております。

今年は、「税の役割と税務署の仕事」をテーマとして、税の役割や税制の現状などのテーマに即した情報の提供を行う予定であります。

The graphic features the title "税の役割と税務署の仕事" (Role of Tax and Tax Authority Work) in large pink characters. Below it is a search bar with "税を考える週間" (Tax Thinking Week) and "検索" (Search) buttons, and the website "www.nta.go.jp". The central illustration shows a diverse group of cartoon characters, including children and adults, playing various musical instruments like a drum, trumpet, violin, and cello. At the bottom, there are icons for "電子証明書" (Electronic Certificate) and "ICカードリーダー" (IC Card Reader), along with the text "おうちで作成 ネットで申告" (Create at home, declare online) and the "e-Tax" logo.

① 税を考える週間の歴史

税を考える週間の始まりは、昭和 29 年に「納税者の声を聞く月間（旬間等）」としてスタートし、昭和 49 年からは納税者のみならず広く国民各層に税を正しく理解していただくための期間として毎年 11 月 11 日から 17 日までの一週間を「税を知る週間」とし、全国的に統一して各種広報施策を実施してきました。

平成 16 年からは「国・地方の財政が極めて厳しい状況にある」ということを知っていただくだけでなく、これに的確に対応するためには「租税の意義・役割や税務行政の現状」を説明し、税についてより深く理解していただく必要があるということで、単に税を「知る」だけではなく、能動的に税の仕組みや目的などを考え、『税』について理解を深めていただくことを明確にするために「税を考える週間」に名称変更し、現在に至っております。

② 税務署等の歴史

明治 29 年 11 月に税務管理局と税務署が創設されました。（大蔵省（現：財務省）は明治 2 年 7 月設置）
昭和 24 年 6 月に国税庁が発足し、国税局が設置されました。

北見税務署は昭和 22 年 8 月に開庁しました。（詳細は裏面をご覧ください。）

※ 明治 35 年 11 月 税務管理局は税務監督局に名称変更、さらに昭和 16 年 7 月に財務局へ名称変更

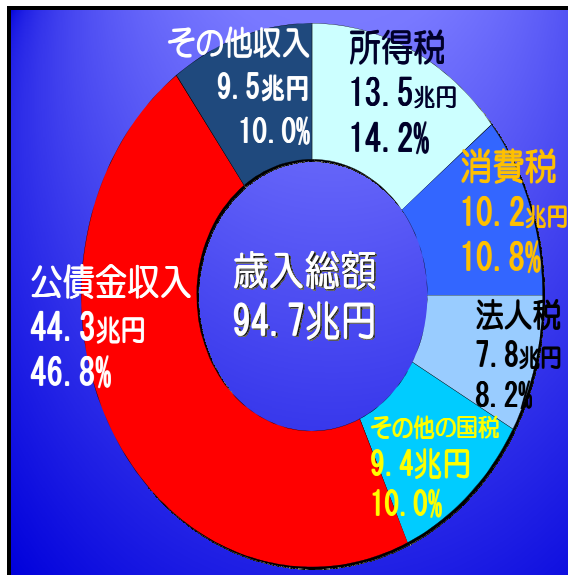
学級担任の先生・社会科の先生に『税』の話題を提供！

③ 北見税務署の沿革等

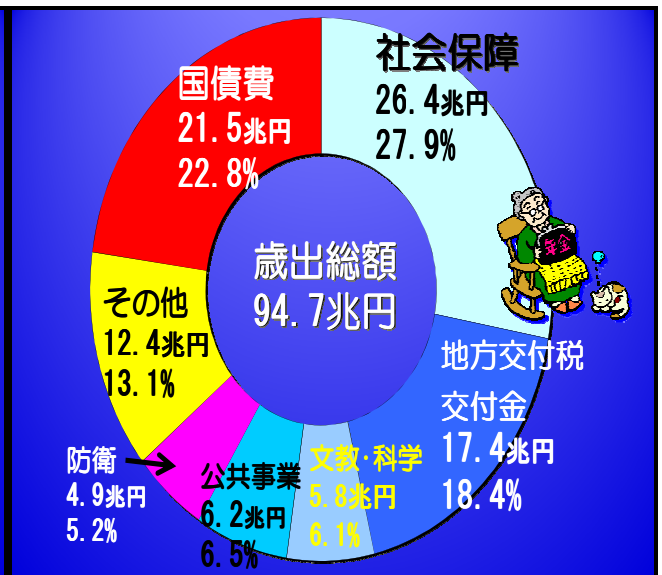
- 昭和 22 年 8 月 網走税務署の管轄であった北見市・留辺蘂町・相内村・置戸村・訓子府村・端野村・佐呂間村と紋別税務署の管轄であった生田原村の 1 市 1 町 6 村を管轄として開庁。
(北見市北 1 条東 1 丁目に仮庁舎→同年 12 月 北見市幸町に移転)
 - 昭和 23 年 4 月 佐呂間村が佐呂間村と若佐村に分割、1 市 1 町 7 村となる。
 - 昭和 25 年 1 月 置戸村が町に昇格、1 市 2 町 6 村となる。
 - 昭和 26 年 1 月 訓子府村が町に昇格、1 市 3 町 5 村となる。
 - 昭和 28 年 4 月 佐呂間村が町に昇格、1 市 4 町 4 村となる。
 - 昭和 29 年 4 月 生田原村が町に昇格、1 市 5 町 3 村となる。
 - 昭和 31 年 9 月 相内村が北見市と合併、若佐村が佐呂間町と合併、1 市 5 町 1 村となる。
 - 昭和 37 年 6 月 端野村が町に昇格、1 市 6 町となる。
 - 昭和 42 年 12 月 北見市青葉町（現在地）に庁舎移転。
 - 平成 17 年 10 月 生田原町が遠軽町・丸瀬布町・白滝村と合併し、遠軽町（紋別税務署）となり、1 市 5 町となる。
 - 平成 18 年 3 月 北見市・端野町・留辺蘂町・常呂町（網走税務署）が合併し、北見市となり、1 市 3 町となり、現在に至る。
- 北見税務署は、今年で 64 歳となりました。

日本の財政関係 ～ 平成 23 年度一般会計予算(平成 23 年 7 月成立 2 次補正予算後)について ～
【平成 23 年 9 月財務省発行 日本の財政関係資料より】

【歳入について】



【歳出について】



- ・歳入 94.7 兆円のうち、租税（税金）による収入は 40.9 兆円で 43.2%となっている。公債金収入（借金）は 44.3 兆円で 46.8%を占めている。
- ・歳出 94.7 兆円のうち、占めている割合が 1 番高いのが 27.9%の社会保障費（年金・医療など）26.4 兆円、2 番目が国債費 21.5 兆円で 22.8%（21.5 兆円のうち、利息の支払は 9.96 兆円）、3 番目が地方交付金 17.4 兆円で 18.4%となっています。

※今回は紙面の構成上「税のネタ帳」はお休みさせていただきます。

『税に関する資料がほしい』
『「北見版 くらしを支える税」でこんな話題を取り上げてほしい』など、皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

【お問い合わせ先】

北見市租税教育推進懇話会又は
北見税務署 税務広報広聴官
加 賀 貢
北見市青葉町 3 番 1 号
Tel 0157-23-9160【直通】